

指導する先生方の紹介



大井 哲也

芸大声楽科でバロックの基礎をしっかりと学び、世界でも評価の高い「バッハ・コレギウム・ジャパン」のメンバーとして海外公演にも。パパゲーノ役にもはまり、受難曲のイエスでもデビュー。発声指導は楽しくわかりやすく、爆笑の流れでいい声が出てしまう。不思議な人です。スマホには愛息子の写真がいっぱい。



渡部 智也

会津出身。国立音大で声楽を学び、ロシア歌曲を中心に声楽家としての活動も多方面に及ぶ。持ち声は天性の美声。風貌からすれば役者むき。最近お話しが上手になり、油断して笑っていると一列ずつ、一人ずつと的を絞った緊張感のある練習に早変わり。希望溢れる礼儀正しい好青年。



増田 弥生

九州出身。芸大声楽科を卒業。一流アーティストの登竜門の日本音楽コンクールで優勝。笑顔を絶やさない身体ごとの指導は、ていねいでわかりやすい。いつも「とてもよかったです」「ですが・・・」と妥協を許さない。ウィーン仕込みのきれいなドイツ語発音・発声指導は、中年以降衰える知力、脳力のリハビリに効果大。



田村由貴絵

お茶の水女子大学フランス文学専攻卒業後、芸大声楽科及び大学院修了。ドラベッラとして出演した二期会オペラは文化庁芸術祭賞を受賞。オペラ、コンサート、リサイタルと多忙な中、ミュンヘンでも研鑽を積んだ。はつらつとした合唱練習は、その頭の良さからきているのだろうか。



右近大次郎

高校を卒業するとすぐにアメリカの複数の音楽大学で学ぶ。苦節 13 年。古典から現代音楽の指揮者として経験を積み帰国。日本での指揮活動も定着してきた。発音やリズム、音程にも厳しく、豊かな経験から出てくるのは強い意志。グラーツでの指揮マスタークラス・コンクールにて見事第 2 位を獲得。



郡司 博

指導者の中で最年長の終戦の年生まれ。指導法に工夫を重ねていよいよ合唱指揮 50 年に突入する。毎年新しいシステムで「高齢者による高齢者の発声実験室」と名付けているが、実際にその効果は健康的にも音楽的にも抜群である。若いころは“鬼のグンジ”と言われたが、最近随分人間に丸みが出てきた。

～うたは心と身体にやすらぎと健康をもたらします～

一緒にうたってみませんか？